

新聞図會 第二号



大坂本田町住軍魁利兵六  
 其性直実強毅事二望んで  
 一命を以て不借と議する哉  
 四月廿九日大和河内の因境  
 暗り峠を行く所  
 者兵張番一ノ道普請  
 のため出銀を募り  
 出さぬ者ハ通さざると  
 挑むと云ふ新道で  
 たら上なるハ相應  
 助カも先べらぬと  
 古道のまきの障りせ  
 前錢取と不埒十萬街道  
 物ハ貧乏ハ山賊にやう此高れハ俵あつん  
 引板番人共を追立々々戸長  
 堀縣迄案内せよと

某が宅へ行きて  
 松原村の出張所にて  
 義論の未役人傳々縣々出敷日對變ニ及びび利兵五が  
 理べぬと解伏られ斯ドヤサカイの云伏り明り  
 立ざる暗り峠助カハ人々の心まうせ又軍魁が滞在  
 中難所不殘所の者より可償え事漸平きぬと

今幡隨院も  
 稱して  
 可あらん

軍魁利兵

利兵六

八尾

利兵六の名字一ノ道  
 万人の為之害を  
 除く

